



TITLE:

# 故汐見三郎博士略歴・主要著書論文目録

AUTHOR(S):

---

CITATION:

故汐見三郎博士略歴・主要著書論文目録. 經濟論叢 1963, 91(3): 217-222

ISSUE DATE:

1963-03

URL:

<https://doi.org/10.14989/132934>

RIGHT:

# 經濟論叢

第九十一卷 第三號

---

故 汐見三郎博士遺影

オーベル・シュレージエン

製鉄業の再編過程……………大 野 英 二 1

ブレハーノフの

ロシア資本主義論(三)……………田 中 真 晴 26

セルデン特許と

Electric Vehicle Co. ……………岡 田 賢 一 49

故 汐見三郎博士略歴・主要著書論文目録……………61

追憶文(中谷 実・柏井象雄・田杉 競)

---

昭和三十八年三月

京都大學經濟學會

# 故 汐見三郎博士略歴

明治三六年(八五)三月

太正四年(九二)五月

大正七年(九八)七月

大正六年(九七)六月

大正九年(一〇〇)三月

大正十年(一〇一)四月

大正十三年(一〇三)二月

大正十四年(一〇四)四月

昭和二年(一〇七)十月

昭和三年(一〇八)三月

昭和五年(一一〇)七月

昭和七年(一一二)三月

昭和九年(一一四)七月

昭和十年(一一五)六月

昭和十三年(一一七)三月

大阪市西区京町堀三丁目五に生る。

第三高等学校卒業、京都帝国大学法科

大学政治経済学科入学

京都帝国大学法科大学卒業、任大蔵省

属。

大蔵省を辞し、京都帝国大学大学院に

入学、財政学を研究

京都帝国大学経済学部講師

京都帝国大学助教授、経済学部勤務

欧米へ留学

経済学博士の学位を受く

京都大学教授、経済学部勤務

支那へ出張(一ヶ月)

中央統計委員会臨時委員

満州国へ出張

内閣調査局専門委員

京都帝国大学経済学部長

昭和五年(一〇七)十月

昭和三年(一〇五)三月

昭和三年(一〇五)四月

昭和五年(一〇七)十月

昭和五年(一〇七)十一月

昭和七年(一〇九)六月

昭和三年(一〇五)

昭和五年(一〇七)八月

昭和三年(一〇五)九月

昭和三年(一〇五)十月

昭和五年(一〇七)四月

昭和五年(一〇七)六月

昭和五年(一〇七)十月

日本財政学会理事

京都帝国大学退職

京都帝国大学法学部講師

日本租税研究協会設立、会長に選任

京都大学名誉教授の称号を受く

全米租税協年会次大会に出席のため、

カナダおよびアメリカ合衆国へ約二カ

月出張

税務行政調査会長、税制調査会長代理、

地方制度調査会委員

臨時税制調査会副会長

税制特別調査会委員

京都大学法学部を定年退職

京都大学法学部非常勤講師

日本租税研究協会会長退任、同会最高顧

問

心筋梗塞症のため自宅にて逝去

# 故汐見博士主要著書論文目錄

## 著 訳 書

経済統計研究

発行所

刑行年月

日本財政の特殊問題

内外出版

大三一

統計学（現代経済学全集）

有斐閣

昭三二

財政統計（社会科学叢書）

日本評論社

昭四二

全訂 財政学（小川郷太郎博士と共著）

有斐閣

昭七二

国民所得の分配（毛里文於菟、武田長太郎、益田熊雄と共著）

有斐閣

昭八二

各国所得税制論（佐伯玄洞、柏井象雄、伊藤武夫と共著）

有斐閣

昭九七

専売及官公業論

日本評論社

昭一〇五

日本財政政策

千倉書房

昭三一

通俗税制講話

毎日新聞社

昭四三

地方財政問題（新経済学全集）

日本評論社

昭六六

財政学（朝日新講座）

朝日新聞社

昭六八

財政統計

第一出版

昭二五

各国の国民所得

有斐閣

昭三九

租税論

〃

昭三一

財政学入門

廣文社

昭四二

租税総論（松隈秀雄と共著）

大蔵出版

昭三六

税務読本（松隈秀雄と共著）

東洋経済新報社

昭三六

新版財政学入門

廣文社

昭三四

Japan's Finance and Taxation 1940-56, 1957 Columbia University Press.

## 論 文

掲載誌

巻 号

大正八年

物価騰貴と通貨との關係に就て  
福田博士に答ふ

経済論叢

八五

独逸の戦時財産差増税新法案に就て

経済論叢

九六

大正九年

所得税均等負担の理想と実現

経済論叢

一〇二

株式の分布と課税（株式会社株主に対する武藤氏の誤解）

〃

一〇五

所得税に就て武藤氏に答ふ

〃

一一一

大正十年

京都市小学校教員生計調査

経済論叢

一一一

所得分配統計を論じて  
森本博士に答ふ

〃

一一三

世界戦争と伯林の人口

〃

一一四

伯林最近の生活費

〃

一一六

大正十一年

財産税と国富統計	我國における國民所得の発達	我が國民所得の地方別研究	租税負担の地方別研究	日銀兌換券発行高の季節的変動	大正十二年	物価問題の統計的研究	大正十四年	日銀物価指数の研究	物価の変動と従量税	間接税負担の地方別研究	生計調査より観たる租税負担	大正十五年	清酒庫出税と租税の立替	單一税の実現性	我國財政の季節的変動	酒税の転嫁を論ず	流通過程に於ける酒税の転嫁	昭和二年	国庫預金制度と兌換券発行高との關係	銀行法と普通銀行の資本金
----------	---------------	--------------	------------	----------------	-------	------------	-------	-----------	-----------	-------------	---------------	-------	-------------	---------	------------	----------	---------------	------	-------------------	--------------

經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢
一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

教育費負担と地租委譲	戦前戦後の欧州財政	昭和三年	營業収益税の改正法案	營業税と營業収益税	財政以外の課税目的	租税負担及び経費の國際比較	昭和四年	我國の國富及び國民所得を論ず	東京市財政十年計画	地租の改正を論ず	昭和五年	六大都市特に大阪市の租税負担	株式配当の源泉課税	昭和六年	南滿洲に於ける我租税制度	新地租法案を論ず	人口密度と經濟生活	稅率論	所得税の税率の改正	平価切下論を駁す
經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢	經濟論叢
一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

(田島博士選稿)  
記念論文集

昭和七年

英米の所得税

金輸出再禁止後の財界と財政

国民所得の分配の型を論ず

所得に関する疑義

昭和八年

我國の国民所得

企業と租税負担

昭和九年

免税点以下の小額所得者

昭和五年我國国民所得を論ず

臨時利得税を論ず

昭和五年我國富を論ず

昭和十年

地方財政不均衡とその対策

農山漁村財政の標準形態

昭和十一年

中央財政と地方財政とに通ずる  
税制改革

売上税を論ず

昭和十二年

税制整理案を論ず

經濟論叢

三

一

昭和の税制改革

（神戸博士還暦  
記念論文集）

四

五

〃

三

二

昭和十三年度の増税

經濟論叢

四

二

〃

三

六

臨時税法の整理

〃

四

六

經濟論叢

三

六

起債増税比較論

（作田博士還暦  
記念論文集）

四

一

〃

三

六

昭和十四年

財政

四

三

（山本博士還暦  
記念論文集）

三

一

農山漁村財政の五箇年記録

經濟論叢

三

三

經濟論叢

三

六

税制改革の三問題

經濟論叢

三

三

經濟論叢

三

二

昭和十五年

經濟論叢

三

六

經濟論叢

三

四

經濟變動と財政

財政

三

一

〃

三

四

景氣変動と税制改革

經濟論叢

三

三

財政

三

五

經費支出の季節的調整

經濟論叢

三

四

經濟論叢

三

五

新予算の成立と実行

經濟論叢

三

五

經濟論叢

三

二

昭和十七年

（『國民所得とその  
分布』日本評論社）

三

五

利子課税と貯蓄体系

昭和二十一年

戦時利得税と財産税

財産税の再検討

戦争と貧富懸隔

昭和二十二年

インフレ下の税制改革

昭和二十三年

配当所得の課税の軽減

税制改革を批判す

地方財政税外収入

昭和二十四年

取引高税と資産評価の問題

租税政策と農村

シャープ勧告案における租税  
体系の新構想について

シャープ税制勧告の法文化

税制改革の基本問題

税制改革の問題点

昭和二十五年

シャープ調査団の勧告について

地方税制の改革

〔高田博士遠逝  
記念論文集〕

一

国税と地方税との関係  
我國の地方制度の發達の方向

昭和二十六年

税制の根本的再検討

昭和二十七年

独立日本の經濟政策—税制改  
革は感情論抜きで—

終戦後における財政学の研究  
動向の展望

稅務制度—講和後の諸制度稅  
制改革の方向

昭和二十八年

地方財政の実証的研究

やさしい財政学

やさしい財政講話

シャープ税制の改革へ—より國  
情に適した税制を—

昭和三十年

税制改革の進むべき途

昭和三十一年

将来への展望—税制今後の法制  
の展望—

税制はどう改革されるか—間接稅  
増徴の方向に

都市問題研究  
都市問題研究

經濟人

東洋經濟新報

租稅研究

自治時報

エコノミスト

都市問題研究

財政

//

東洋經濟新報

エコノミスト

ジュリスト

東洋經濟新報

昭和三十三年

シャウの税制とその改正 (河見三郎博士八十歳祝賀記念論文集) 〇 四

Volkseinkommen in Japan, Archiv für Sozialwissenschaft und Sozialpolitik (年次不明)

KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC REVIEW

[京都大学経済学部欧文紀要]

Interrelation between the Wealth and Density of

Population in Japan .....Vol. 6 No. 2 1931

Income Tax Rate in Japan .....Vol. 7 No. 1 1932

On the Form of the Distribution of Our

National Income .....Vol. 7 No. 2 1932

Survey of the Distribution of the

People's Income in the Light of

the Household Rate.....Vol. 8 No. 1 1933

On the National Wealth of Japan.....Vol. 9 No. 1 1934

Japan's National Income in 1930 .....Vol. 9 No. 2 1934

The Development of the Income

Tax in Japan .....Vol. 10 No. 1 1935

The Pivot of Local Finance

Reform .....Vol. 10 No. 2 1935

The System of Grants-in-Aid for the

Adjustment of Local Finance ..... Vol. 13 No. 1 1938

On the Budget for the Fiscal Year

1933-39 .....Vol. 14 No. 1 1939

The Incidence of Taxation upon the Rural Population

under War Conditions .....Vol. 14 No. 2 1939

The Reform of the Tax System .....Vol. 15 No. 2 1940

Economic Fluctuations and

Public Finance .....Vol. 16 No. 1 1941

The Taxation System of China .....Vol. 17 No. 4 1942